

御親征
行幸中
行在所日誌

第三号
慶應癸辰年三月廿日

イ 4
2478
260

6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1

明 14
號 2478
卷 260



御親征
行幸中

行在所日誌第二號

慶應四戊辰年三月廿七日

三月廿六日天保山ニ於テ海軍為

敵覽卯ノ半刻

御發輦御行列ノ次第ハ左之通

壹

加藤遠江守
兵隊

不参加藤遠江守

池田侍從
兵隊

先陣
一番
若王子

柳沢甲斐守
兵隊

聖護院宮

細川右京大夫
兵隊

庭田大納言
松本隱岐

行六

池田侍從

先陣 二番 勘多由小路辨

勸修寺權佐

松尾因幡

先陣 三番

柳沢甲斐守

四辻宰相中將

擲筒中將

細川右京大夫

細川三河

三

中山大納言 馬

富小路中務大輔

壬生修理權太夫

坊城侍從

中軍

薩州兵隊

百人

備前兵隊

百人

中軍 左

四

御板輿

輿丁 十人
兩皮 二人
脚立 二人

右

中山前中將

大原左馬頭

裏松中務權少輔

三條大納言 馬

五

御醫 三人

松室丹波

土山淡路守

御兒兩人御光廻り

御膳番一人

御茶弁當 二人

御水桶 二人

兩皮 二人
御臺 二人

六

御厨子所 上下四人

肥後兵隊

百人

同御用長持 二棹

夫四人

長州兵隊

百人

七

中務卿宮

石山三位

正親町大納言

千種前少將

後陣

後陣

一番

二番

坊城頭辨

長門少將

安藝少將

森對馬守

津和野侍從

松室石見

羽倉播磨

八

石野大夫

不參 藤堂

後陣

北小路極扇

三番

後陣

安藝

不參 藤堂大學頭

津和野

兵隊

松室下總

森

長門

御道筋ハ御本門ヨリ心齋橋通り四軒町大豆葉町
七郎右衛門町西國橋玉水町常安橋通り玉江橋
ヨリ堂嶋濱筋塩津橋ヨリ安治川筋安治川橋通
御ニ而富島二丁目濱ヨリ

御乗船被為 遊兵隊ノ前軍中軍ハ左ノ川岸後
軍ハ右ノ川岸ヨリ隊列ヲ整ヘ正々堂々

御座船ノ左右ニ隨從行進シ以テ護衛セリ午ノ
刻天保山エ

御着船也○兼テ用意アリシ各藩ノ軍艦佛國軍
艦天保山ヨリ距離一里ニシテ碇泊セリ

散覧所ヨリ青旗ヲ振り

着御ヲ合圖ス是ニ應シテ海軍惣督聖護院宮同
輔翼若王子同參謀庭田大納言衆込レシ肥前軍
艦電流丸ヨリ祝炮ヲ發ス佛國軍艦ヨリモ亦發
炮シ

皇帝陛下ヲ祝シ奉ル右相濟ニ電流丸ヨリ答禮
ノ應炮ヲ發シ諸艦ヲ誘導シ兵庫ノ方ヘ向テ航
スル丁三十分時ニシテ轉回シ天保山ヘ歸艦碇
泊スハツ時過

御乗船御道筋御行列初ノ如シ七ツ時

選御在セラレル○此日供奉諸侯ノ供連ハ侍二人
口附二人下部一人ナリ尤船中ハ從僕一人ナリ
残り供ハ陸行 御行列ノ後ニ從ヘリ○前中後
ノ兵隊人數ハ中藩以上百人小藩ハ一小隊ナリ
○御行列ヲ拜セントテ市中迄在ノ衆庶群集ス
ルヲ駭シ

官版

不許翻刻

御用御書物所

京東洞院三條上町

村上勘兵衛

同堀川二條下町

井上治兵衛

取次

大坂心齋橋通唐物町

淺井吉兵衛

同 博勞町

岡田茂兵衛

同心齋橋通南壹丁目

大野木市兵衛



書房

